



LABOR UNION COLLEGE

レバカレ2025

プレ企画 #労働組合ができること

全国各地、世界中でさまざまな労働組合が、ストライキに立ち上がり、要求の実現に向けて頑張っています。労働者が団結し、不当なこと、不正義に立ち向かうこと、これこそが労働組合の、そして私たちの希望です。今年10月に開催されるレバカレ2025は、労働組合を大きくしたい、労働者の生活を良くしたい、人権が守られる社会や職場を作りたいと活動するみなさん一人ひとりといっしょにつくる集会です。そのプレ企画を行います。

プレ企画では、非正規のなかま、ストライキに立ち上がったなかま、公務職場のなかまから、それぞれ当事者に、たたかいに至った経緯、どうやって困難を乗り越えたのか、そして、どんなことを学んだのかを聞きます。全3回のオンラインによるシンポジウム形式での開催になります。1回だけの参加も歓迎します。

第3回 公務公共労働者のたたかい

2025年7月2日（水）18:30-20:00

参加申込は
こちらから
→



深刻化する教職員の長時間・過密労働を解決するにはどうするか？公務員のストライキ権が奪われているなか、ストライキに代わる職場からの行動として、取り組まれた全国一斉定時アクション。全教の提起に、職場でためらいや諦め感をどう乗り越えアクションに取り組んだのか？京都教職員組合の仲間に経験を聞く。

ファシリテーター：竹下武（全労連事務局次長）

パネリスト：京都教職員組合

第2回 ストライキを復活させる

全労連YouTubeで配信中

<https://youtu.be/1uXrfdRm0k>

「ストライキ」ー労働者・労働組合にとって最高の戦術の一つである一方、1980年代以降実施数、規模は減少を続けてきたと言われてきた。コロナ禍を経て賃金引き上げや職場・雇用を守るため再び注目を浴びているストライキに立ち上がった仲間の経験を聞こう。

ファシリテーター：大久保なつみ（全労連事務局員）

パネリスト：全医労いわき支部、生協労組おかやま

第1回 当事者が立ち上がる瞬間

全労連YouTubeで配信中

<https://youtu.be/RvAM6sHnLJ8>

多くの自治体職場で働く非正規労働者が直面する雇い止めにどう立ち向かうか、外食チェーンで働く大学生はなぜ賃上げを求めて声をあげたのか、札幌市で活動するコミュニティ・ユニオンに集う仲間は何を求めているのか、全国各地で立ち上がる非正規雇用の実践から学ぼう。

ファシリテーター：黒澤幸一（全労連事務局長）

パネリスト：建交労愛知県本部・保育パート支部、回転寿司ユニオン、札幌地域労組

参加申込
受付中

「活動がんばっているけど仲間が増えない」「要求実現を実感できない」など日常の組合活動や組織作りの「モヤモヤ」をなんとかしたい。本音の対話を通じて、あなたの職場を変えるヒントや勇気が湧いてくる集会です。右側のフォームから必要事項を送信いただければ、参加費の支払いや宿泊、会場などのご案内を送付いたします。

※参加の募集、宿泊施設のあっせんは、勤労者レクリエーション協会（有）が行います。

また、QRコードのリンク先の参加申込フォームは勤労者レクリエーション協作成のGoogle Formsです。



主催：全労連

東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4階
03-5842-5611/luc@zenroren.gr.jp
https://zenroren.gr.jp/campaign_cat/luc